

# KEYAK!

1月号

新年あけましておめでとうございます。そしてごめんなさい。  
長期休みに入る前、終業式に必ず子どもたちに言っていることがあります。病気にならないこと、事故に遭わないようにすること、ありがとうをたくさん言うこと。いつも同じことを言うのは、それだけ大切なことだからです。

やってしまいました……。その日、その時だけ、うかつでした。体の左側の骨がたくさん折れました。少なくとも丸2日間はほとんど目しか動かせませんでした。言っておきますが、まお先生、あべ先生と入院し、急にうらやましくなった訳ではありません。現在はもの凄いスピードで回復中なので大丈夫です。けれど約束を守れなかった私は始業式で子どもたちに謝らなければなりませんね。そのかわり、3番目の「ありがとう」は人にもモノにもいっぱい感謝しました。人には・・ヒマなせいもあって?かしょっちゅう涙が出ました。やってもらわないと何もできない自分に。やってくれる人に。家族を想って。医療に携わる方々の動きや対応に。職員全員で送ってくれたメッセージ動画を観て・・すぐ涙腺がゆるむのは怪我の後遺症でしょうか?モノにも・・改めてモノの便利さ、大事さ。松葉づえや車いす、これは勉強にもなりました。ハンデのある方への思いとか。入院中の食事での大好物は痛み止めでした。

やはり一番は、「当たり前」の日常を送れる」ありがたさに感謝です。子どもたちにもそれを伝えていきたいですし、怪我ではなく普段の生活の中で、良い意味で不便という環境にたまには遭遇することも、考えたり乗り越えたりといった意味で子どもたちにも大切なことかもしれないな、なんていろいろなことを思った次第です。

結論・・・ありがとうを口に出そう!

今回 KEYAK!を発行するにあたり、園長がもし原稿を書けなかったらどうしようという話になったらしく、その時に備え阿部先生、まお先生両名が原稿を寄せておいてくださいました。せっくなので全て載せさせていただきますのでご了承ください・・ううまた涙が・・。

ペンネームは3人合わせてニューインズで。 心配してくれたみんなありがとう!